

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地			
神戸医療福祉専門学校三田校		平成9年3月26日		澤村 誠志		〒 669-1313 (住所) 兵庫県三田市福島501-85 (電話) 079-563-1222			
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地			
学校法人神戸滋慶学園		平成4年1月13日		田仲 豊徳		〒 650-0001 (住所) 兵庫県神戸市中央区加納町2丁目5番1号 (電話) 078-221-8026			
分野	認定課程名		認定学科名			専門士		高度専門士	
医療	医療専門課程		救急救命士科			平成10年12月21日 文部科学大臣告示第30号 認定		—	
学科の目的		救急医療に携わる者として必要な専門知識、技術、倫理観を身につけた人材の養成を目的とし、さらに国際的な視野をもち、今後の日本における救急医療の前進に貢献できる人材を育成することを目標としています。							
認定年月日		平成26年3月31日							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義		演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	2250	795		285	1170	0	0	
生徒総定員		生徒実員		留学生数(生徒実員の内)		専任教員数		兼任教員数	
100人		107人		0人		3人		23人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日				成績評価	■成績表: 有			
						■成績評価の基準・方法 評価の基準: 試験の成績は科目ごとに100点満点とし、60点以上を合格点とする。 評価の方法: 試験は各学期ごと又は科目終了時に行う。			
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月11日～8月17日 ■冬季:12月26日～1月5日 ■学年末:3月31日				卒業・進級条件	卒業要件: 本校所定の課程を修了し、出席日数をみだし、試験に合格した者。 進級要件: 当該年度当該年度の科目を全て履修していなければならない。			
学修支援等	■クラス担任制: 有				課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学友会・ボランティア・学園祭の実行委員会			
	■個別相談・指導等の対応 3日以上欠席が続いた場合は、担任が保護者に連絡し、理由を把握すると共に、必要であればカウンセラーにつなぎ、原因を把握した上で、適切な対応をしている。								
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和4年度卒業生) 消防署、海上保安庁、病院等				主な学修成果(資格・検定等)※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和4年度卒業者にに関する令和5年5月1日時点の情報)			
	■就職指導内容 就職セミナーの開催・就職対策講座・模擬面接、企業説明会の開催					資格・検定名種別受験者数合格者数			
	■卒業生数40人					救急救命士②40人40人			
	■就職希望者数34人								
	■就職者数21人								
	■就職率61.8%								
	■卒業者に占める就職者の割合								
: 52.5%									
■その他									
・進学者数: 6人									
・									
(令和 4 年度卒業者にに関する令和5年5月1日時点の情報)									
中途退学の現状	■中途退学者 5 名				■中退率 5 %				
	令和4年4月1日時点において、在学者98名 (令和4年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者93名 (令和5年3月31日卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更他 ■中退防止・中退者支援のための取組 クラス担任制で、定期、不定期の個人面談を行っている。また学生ひとり一人の状況変化に対し、担任だけでなく、チームで対応している。又、心のケアについては学生相談室を設置し、個別面談を行っている。 経済的な理由により学業の継続が困難な学生に対しては、専門の教職員が個別に面談し、日本学生支援機構奨学金等適切な情報提供を行っている。 進路変更委員会を設置しており、学生が進路変更を希望した場合、ひとり一人の学生にとって最適な進路変更を提案するようにしている。								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 神戸医療福祉在校生援助奨学金:突発的な経済的事情で学業継続が困難であり、かつ本校の定める成績基準を満たしている在校生が対象。学費を上限とした額で無利子。(但し、在学中に1回のみ) ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 受審年月: 評価結果を掲載したホームページURL								
当該学科のホームページURL	https://www.kmw.ac.jp/gakka/elt/								

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

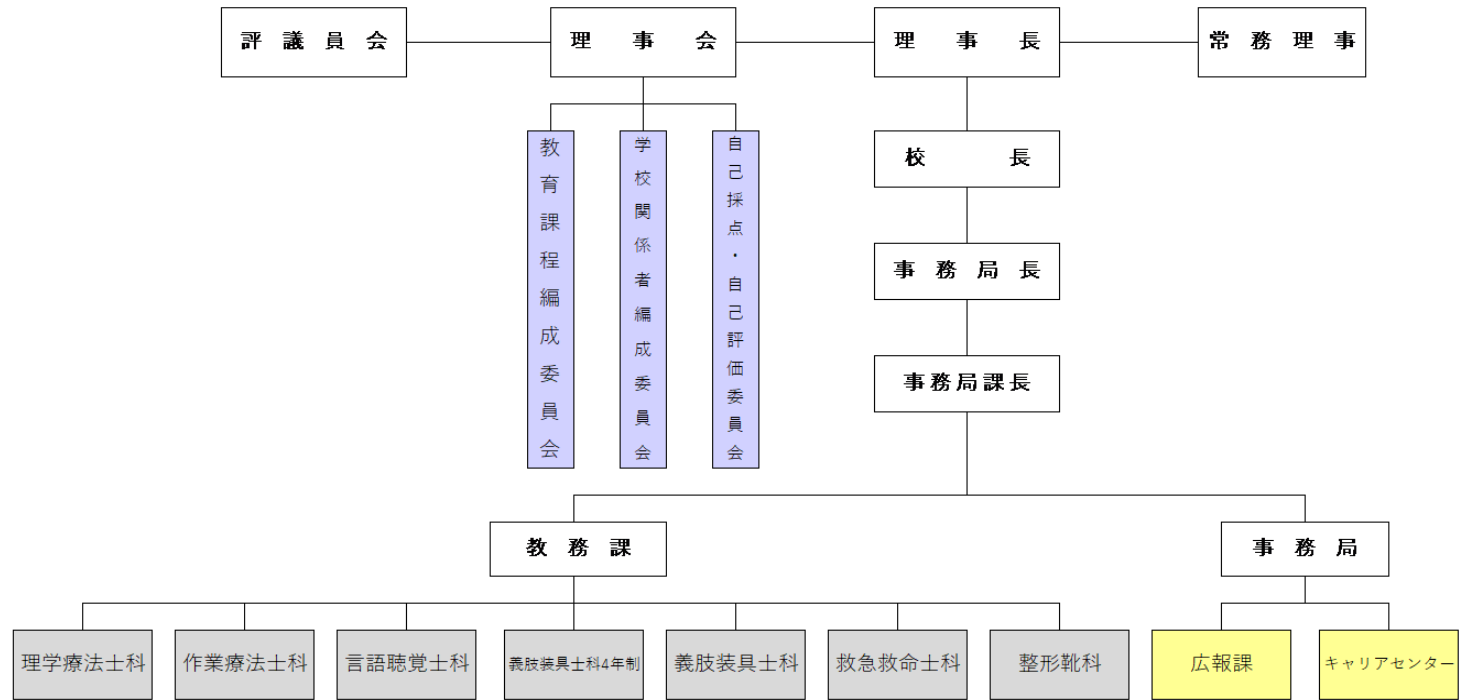
認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
業界との連携について、学生それぞれを配置する臨床実習先の専門職を実習指導者に就任していただき、実習開始前には本校に集合していただいた上で、本校の建学の理念、学科の養成目的、臨床実習の目的を説明させていただき、臨床実習での指導をおこなっていただいています。教育課程編成委員会においても、業界関係者からの意見を、より詳細に教育内容に反映させるように見直している。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
本校の教育課程編成委員会は理事会のもとに設置しており、委員長は、委員会で出された意見を集約し理事会に報告している。カリキュラム変更等は評議員会、理事会で決議し教育内容に反映させている。

学校法人神戸滋慶学園
神戸医療福祉専門学校三田校



(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
齋藤 満知子	学校法人 神戸滋慶学園 常務理事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
澤村 誠志	神戸医療福祉専門学校三田校 校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
今在家 信司	神戸医療福祉専門学校三田校 事務局長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
大牧 良平	神戸医療福祉専門学校三田校 理学療法士科	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	—
山下 真吾	神戸医療福祉専門学校三田校 作業療法士科副学科長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
今岡 康人	神戸医療福祉専門学校三田校 言語聴覚士科学科長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
棚木 千代美	神戸医療福祉専門学校三田校 救急救命士科学科長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
佐々木 伸	神戸医療福祉専門学校三田校 義肢装具士科・義肢装具士科4年制学科長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
辻野 道子	神戸医療福祉専門学校三田校 整形靴科学科長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	—
正木 健一	一般社団法人 兵庫県理学療法士会 財務部部長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
堤 万佐子	兵庫県宝塚市向月町19番5号 医療法人 尚和会 宝塚第一病院	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
田川 和人	みきやまりハビリテーション病院 療法部主任	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③

中村 太一	医療法人社団薫楓会 緑駿病院 作業療法士室長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
大和 健一郎	さんだりハビリテーション病院 療法室長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
門脇 誠一	一般社団法人兵庫県作業療法士会 理事(副会長)	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
恩田 光平	兵庫県言語聴覚士会 理事	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
吉田 泉	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 あわじ荘 支援課	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
田畑 隆太	緑駿病院 リハビリテーション室 室長 言語聴覚士	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
太田 宗夫	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会 顧問	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
秋田 健太郎	医療法人沖縄徳洲会 神戸徳洲会病院 救急救命士科	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
川端 雅生	一般社団法人 日本義肢協会 近畿支部 研修委員	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
石原 栄治	公益社団法人 日本義肢装具士協会 副会長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
植田 幸一	橋本義肢製作 株式会社 第2装具課 課長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
藤原 誠文	株式会社 アルフィット 代表取締役	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③
栗林 薫	日本整形靴技術協会 顧問	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	①
眞殿 浩之	川村義肢株式会社 製造部 製靴科 主任技師	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (6月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和4年6月25日 15:00～17:00

第2回 令和5年2月18日 14:10～16:10

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

拡大2行為などの処置拡大に伴い、2年制課程では不利ではないか？また、講師や病院実習先は充足しているか？などの意見があった。現在、2年制でも指定された以上のカリキュラムのため特に問題はないが、職域拡大により教育内容の変更があった場合は厳しくなると考えている。病院実習については、2次医療機関で充実した内容で実施できているため、新たな病院開拓は考えていない。取り巻く環境に応じて、すばやく適応できるようにしている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実際に搬送後病院内でどのような処置、治療が行なわれているかなど、全体像を理解し、医療現場の見学と医療行為の介助を通じて特定行為に係わる技術の習得を主体とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

各施設へ担当教員が実習期間や受け入れ人数について事前に打ち合わせを実施。実習内容については臨地実習要綱に基づき依頼する。

学内では実習履修要件として、定められた項目について評価を行う。

実習開始前に、各施設において実習前オリエンテーションを実施し、実習期間中は実習担当者と情報交換を行い、実習状況を確認する。正当な理由のある欠席等については、別途日程で補充実習を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
臨床実習	救急救命士の使命感をもつこと、観察・判断・処置・特定行為に関連する手技を習得すること、及び患者様に対する接遇を学ぶことなどを目的とする。 実際の医療を肌で感じとり、医療者としての人間形成の基礎となることを期待。	神戸徳洲会病院、岸和田徳洲会病院、兵庫医科大学病院救命救急センター、大阪府立中河内救命救急センター、りんくう総合医療センター大阪府泉州救命救急センター
3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 学園の定める教員研修規程において、教員の授業内容・教育技法の改善並びにクラス運営方法の向上、マネジメント能力を含む指導力の向上を研修の目的と定めています。また、教員の専門知識・技術の向上の為にそれぞれの専門の学会や業界の研修会への積極的参加を促しています。学科にて教員全てが研修を受けるように、計画している。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 新任教員研修	連携企業等: 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和4年5月14日(土)	対象: 教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 JESA新任教員研修①授業設計②心構え③Jesalについて	
研修名:	第25回日本臨床救急医学会	連携企業等: 日本臨床救急医学会
期間:	令和4年5月26日(木)、27日(金)	対象: 教員
内容	医師・看護師・消防機関・他コメディカルによる学会	
研修名:	兵庫県神戸市消防学校体験入隊	連携企業等: 兵庫県広域防災センター
期間:	令和4年6月23日(木)	対象: 学生
内容	日々消防学校でも行われている規律訓練や体力訓練、放水訓練、搬送訓練、火災現場の濃煙の中での避難体験や震度7の地震体験等	
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修交流委員会会議	連携企業等: 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和4年7月1日(金)	対象: 教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 JESAに加盟している民間養成校の教員研修会内容について	
研修名:	徳島MCLS	連携企業等: 徳島県メディカルコントロール協議会
期間:	令和4年11月12日(金)、13日(土)	対象: 教員
内容	災害医療における多職種連携トレーニング	
研修名:	JESC教育分科会 救急救命チーム会議	連携企業等: 一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年11月14日(月)	対象: 教員
内容	滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版 各校の広報・DO・国試・就職について目標・数字確認・問題点の対策	
研修名:	神戸市マラソン2022	連携企業等: 兵庫県/神戸市/兵庫県教育委員会/神戸市教育委員会/兵庫県上協議会
期間:	令和4年11月20日(日)	対象: 学生
内容	神戸市マラソン大会での固定AED隊	
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 理事会	連携企業等: 一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年1月31日(火)	対象: 教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として 法人の業務執行の決定等	

研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 理事会	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年3月17日(金)	対象:	教員
内容:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として 法人の業務執行の決定等		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	国家試験対策センター会議	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年5月23日(月)	対象:	教員
内容:	国家試験に対する研修会 令和3年度国家試験結果・振り返り・2023年度事業計画		
研修名:	JESC教育分科会 救急救命チーム会議	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年6月13日(月)	対象:	教員
内容:	滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版 各校の広報・DO・国試・就職について 目標・数字確認・問題点の対策		
研修名:	マネジメントベーシック研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年6月21日(火)、22日(水)	対象:	教員
内容:	マネージャーに必要とされる基本的な知識やスキル、スタンスを学ぶ		
研修名:	マネジメント後期研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年7月5日(火)、6日(水)	対象:	教員
内容:	企業組織を取り巻く内外環境の変化に対応すべき 基礎を身につけた上でそれらを十分に使いこなす 自身で考え自分のものとしてマネジメントができる		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修交流委員会会議	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和4年7月26日(火)	対象:	教員
内容:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 JESAに加盟している民間養成校の教員研修会内容について		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 理事会・総会・教員研修交流委員会	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和4年8月18日(木)、19日(金)	対象:	教員
内容:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 JESAに加盟している民間養成校の総会・教員研修会		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修交流委員会会議	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和4年9月16日(金)	対象:	教員
内容:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 JESAに加盟している民間養成校の教員研修会内容について		
研修名:	2022年度 教職員カウンセリング 研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年9月27日(火)	対象:	教員
内容:	カウンセリングマインドを身につけ学生や保護者に対応できる スキル向上を目指し資格を取得するために研修		
研修名:	2022年度 教職員カウンセリング 研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年9月30日(金)	対象:	教員
内容:	カウンセリングマインドを身につけ学生や保護者に対応できる スキル向上を目指し資格を取得するために研修		
研修名:	2022年度マネジメント研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和4年10月25日(火)	対象:	教員
内容:	マネジメント教育について		

研修名:	第19回千里メディカルラリーwith阪大救命	連携企業等:	大阪府済生会 千里救命救急センター 大阪大学救命救急センター
期間:	令和4年11月5日(土)	対象:	教員・学生
内容	医師や看護師、救急救命士などで構成 された医療チームが、制限時間内での確な診断と治療を行う競技		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修交流委員会会議	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和4年12月17日(土)	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 JESAに加盟している民間養成校の教員研修会内容について		
研修名:	キャリア教育アドバンス研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年1月12日(木)	対象:	教員
内容	学生の特性に応じたキャリア教育について		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修交流委員会会議	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年1月16日(月)	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 2023年度教員研修交流委員会の事業計画		
研修名:	JESC教育分科会 救急救命チーム会議	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年2月17日(金)	対象:	教員
内容	滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版 各校の広報・DO・国試・就職について目標・数字確認・問題点の 対策		
研修名:	JESA PEMECコース	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年2月23日(木・祝)	対象:	教員
内容	急性疾病の傷病者に対し、現場に出動した救急隊員が どのような活動を行うか明確にし標準化しようとするもの		
研修名:	2023年度新入職研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年3月29日(水)	対象:	教員
内容	滋慶学園グループの原則・基本理念・組織運営について 成長の原則とセルフマネジメント		
(3)研修等の計画			
①専攻分野における実務に関する研修等			
研修名:	兵庫県神戸市消防学校体験入隊	連携企業等:	兵庫県広域防災センター
期間:	令和5年6月23日(土)	対象:	学生
内容	日々消防学校でも行われている規律訓練や体力訓練、放水訓練、搬送訓練、火災現場の濃煙の中での 避難体験や震度7の地震体験等		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 新任教員研修会	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年7月19日(金)	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 JESA新任教員研修①授業設計②心構え③Jesaについて		
研修名:	第26回日本臨床救急医学会	連携企業等:	日本臨床救急医学会
期間:	令和5年7月26日(月)～28日(水)	対象:	教員
内容	医師・看護師・消防機関・他コメディカルによる学会		
研修名:	兵庫県実科査閲	連携企業等:	兵庫県消防学校
期間:	令和5年9月23日(土)	対象:	教員・学生
内容	兵庫県消防学校初任教育の査閲		

研修名:	JESA PACCコース	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年9月23日(土)	対象:	教員
内容	病院前における循環器救急疾患対応のトレーニングコース 「モニター心電図の判読」「12誘導心電図の判読」 循環器疾患に特徴的な所見と観察		
研修名:	神戸市マラソン2023	連携企業等:	兵庫県/神戸市/兵庫県教育委員会/神戸市教育委員会/兵庫県上協議会
期間:	令和5年11月19日(日)	対象:	学生
内容	神戸市マラソン大会での固定AED隊		
研修名:	教員研修交流委員会会議・JESA理事会	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和6年3月	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として 法人の業務執行の決定等		
研修名:	一般社団法人 全国救急救命士教育施設協議会教員研修交流委員会	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	6～7回/年	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修交流会委員として研修会内容の立案		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 理事会	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	2～3回/年	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会として 法人の業務執行の決定等		
②指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 教員研修交流委員会会議	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年4月18日(火)	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 JESAに加盟している民間養成校の新任教員研修会内容について		
研修名:	国家試験対策センター会議	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年5月22日(月)	対象:	教員
内容	国家試験に対する研修会 令和4年度国家試験結果・振り返り・2023年度事業計画		
研修名:	2023年度国家試験対策研修会	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年6月6日(火)	対象:	教員
内容	国家試験合格率の更なる向上に向けて 100%合格達成学科教員によるセミナー		
研修名:	2023年度 FDミクロレベル フォローアップ研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年6月7日(水)	対象:	教員
内容	滋慶学園グループにおける教育理念・コーチングスキル研修		
研修名:	JESC教育分科会 救急救命チーム会議	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年6月21日(水)	対象:	教員
内容	滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版 2023年度第1回委員長の変更		
研修名:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会 理事会・総会・教員研修交流委員会	連携企業等:	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会
期間:	令和5年8月17日(木)、18日(金)	対象:	教員
内容	一般社団法人全国救急救命士教育施設協議会理事会 JESAに加盟している民間養成校の総会・教員研修会		
研修名:	令和5年度救急救命士養成所専任教員講習会	連携企業等:	厚生労働省医政局
期間:	令和5年8月21日(月)～25日(金)	対象:	教員
内容	専任教員の質の向上及び養成確保を図り、最新の法令の内容を含んだ、より高度な知識技能を習得させ、併せて救急医療の 普及向上に資することを目的とする		

研修名:	2023年度 教職員カウンセリング研修(1次)	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年9月26日(火)	対象:	教員
内容	カウンセリングマインドを身につけ学生や保護者に対応できる スキル向上を目指し資格を取得するために研修		
研修名:	第20回千里メディカルラリー	連携企業等:	大阪府済生会 千里救命救急センター
期間:	令和5年12月2日(土)	対象:	教員・学生
内容	医師や看護師、救急救命士などで構成された医療チームが、 制限時間内での確な診断と治療を行う競技		
研修名:	神戸滋慶教職員研修	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	令和5年12月	対象:	教員
内容	神戸滋慶教職員FD研修		
研修名:	JESC教育分科会 救急救命チーム会議	連携企業等:	一般財団法人 滋慶教育科学研究所
期間:	2～3回/年	対象:	教員
内容	滋慶5校・国家試験対策センター・株式会社滋慶出版 各校の広報・DO・国試・就職について 目標・数字確認・問題点の対策		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。
また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針
卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に生かすことを方針としています。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応	
ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	(11)国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況
中途退学率の改善が必要との指摘から、メンタル面、学習習慣や学習能力面についての学生サポートアンケートを活用し、問題の早期発見や担任による補講契約や面談を実施している。また、カウンセリングやキャリア教育に携わる教職員に対するサポートや研修も実施している。特に理学療法士科については、地域との連携授業を多数取り入れていることについて、今後も今以上の取り組みを期待され、2021年度の理学療法演習に取り組むようにした。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿			
名 前	所 属	任期	種別
中村 元樹	理学療法士科卒業生・平島病院 リハビリテーション科	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	卒業生
幸田 佳子	言語聴覚士科3年生の保護者	令和5年4月1日～令和6年3月31日(1年)	保護者代表
川崎 万紀代	学校法人百合学院中学校・高等学校 校長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	高等学校関係者
田中 加代子	特定非営利活動法人言語障害者の社会参加を支援する会しゃべろーよ 地域活動支援センター トークゆうゆう 所長	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
正木 健一	兵庫県理学療法士会 財務部 部長/株式会社ヌーベルバーグ 介護ショップ連	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員
川端 雅生	一般社団法人 日本義肢協会 近畿支部 研修委員/株川端技術所 代表取締役	令和4年4月1日～令和6年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/>

公表時期: 令和5年6月30日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校で毎年作成している事業計画の実行方針では目標(カリキュラムの検証、中途退学防止、卒業後の離職防止等)を具現化するため、学校関係者評価委員会・教育課程編成委員会の委員の方からの意見をもとに、実行計画を作成している。企業等への具体的な情報提供方法としては、講師会議やホームページを通じて、教育活動その他の学科運営の情報に関する情報の提供を行っています。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	建学の理念、校長名、所在地、連絡先、教育目標、学校の沿革
(2) 各学科等の教育	入学者に関する受け入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数、教科目標、教科課程、進級・卒業の要件、資格、検定、実績、卒業生数、卒業後の進路、各学科のシラバス
(3) 教職員	教職員数、組織図
(4) キャリア教育・実践的職業教育	教育システム、実習・実技等の取組、就職支援の取組
(5) 様々な教育活動・教育環境	学年暦、学校行事の取組状況、設備紹介
(6) 学生の生活支援	学生支援の取組
(7) 学生納付金・修学支援	学費、学費サポート
(8) 学校の財務	資金収支計算書、事業活動収支計算書、財産目録、貸借対照表、監査報告書
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果、学校関係者評価委員会議事録
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.kmw.ac.jp/gakko/joho/>

公表時期: 令和4年6月30日

授業科目等の概要

(医療専門課程救急救命士科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			情報科学	医療における統計学の必要性の理解とコンピュータ処理の実例を通してコンピュータの基礎を理解する。	1通	45	1		○		○			○	
2	○			倫理学	市民社会の成立・生命の尊厳・社会規範・宗教哲学等、生命倫理をめぐる基本問題を学ぶ。	1前	15	1	○			○			○	
3	○			心理学	発達心理・人格形成・人間の行動について学ぶ。	1前	15	1	○			○			○	
4	○			体育学	体力を増強し、健全な身体の発達を図り、人命救助に適した体作りを目指す。	1通	60	2		○		○			○	
5	○			一般教養Ⅰ	社会人や公務員として必要な知識や教養について学ぶ。	1通	90	6	○			○			○	
6	○			一般教養Ⅱ	社会人や公務員として必要な知識や教養について学ぶ。	2通	90	6	○			○			○	
7	○			解剖学・生理学	人体の構造と機能を中心とした基礎的内容について学ぶ。	1前	60	4	○			○			○	
8	○			生化学	生体を構成する物質の構造と機能、生体内での代謝疾患時の変化などについて基礎的事項を学ぶ。	1前	15	1	○			○			○	
9	○			病理学	疾病の病因・病理学像などの基礎的内容を学ぶ。	1前	15	1	○			○			○	
10	○			法医学	法律上の問題となる医学的事項を中心として学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
11	○			薬理学Ⅰ	薬物の作用機序・適応・使用量などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
12	○			薬理学Ⅱ	主に病院内実習で必要な薬物の作用機序・適応・使用量など具体的に学ぶ。	2前	15	1	○			○			○	

13	○		保健医療制度	健康の保持、予防医学の重要性を認識させ、公衆衛生分野を学ぶ。	1 前	15	1	○			○			○	
14	○		社会保障・社会福祉	社会福祉と医療、社会保障の関連について学ぶ。	1 前	15	1	○			○			○	
15	○		病院前医療概論	救急医療、災害医療、病院前医療体制について学ぶ。消防機関における救急活動の流れ、救急救命士に関連する法令について理解する。	1 後	30	2	○			○			○	
16	○		救急救命処置概論Ⅰ	救急救命士が現場で行う観察および現場活動の基本を学び、緊急度・重症度の判断力を養う。	1 通	30	2	○			○			○	
17	○		救急救命処置概論Ⅱ	救急現場活動で使用する観察資器材の使用目的、適応や使用法等や救急蘇生法について学ぶ。	1 後	30	2	○			○			○	
18	○		救急救命処置概論Ⅲ	認定救急救命士ができる処置の目的、適応、手技について学び、適切な判断能力を身につける。	2 通	15	1	○			○			○	
19	○		救急病態生理学Ⅰ	心不全・ショックの病態生理と観察、判断、処置などを中心に学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
20	○		救急病態生理学Ⅱ	意識障害の病態生理と救急処置法などを中心に学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
21	○		救急症候学	重要疾患を識別するための症候について理解し、観察、判断、処置などを中心に学ぶ。	1 後	45	3	○			○			○	
22	○		総合救急医療	救急救命士として求められる知識を総合的に身につける。	1 通	180	6		○		○			○	
23	○		神経系疾患	神経の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
24	○		呼吸系疾患	呼吸器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
25	○		循環系疾患	循環器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
26	○		消化・泌尿・生殖系疾患	消化器・泌尿器・生殖器の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	
27	○		代謝・内分泌・栄養系・血液・免疫系疾患	代謝・内分泌・栄養系・血液・免疫系疾患の主な症候、観察、判断、処置などを中心に学ぶ。	1 後	15	1	○			○			○	

28	○		筋・骨格系疾患	筋・骨格系の解剖・生理と主な疾患の症状・救急処置などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
29	○		皮膚系・感覚器疾患・感染症	皮膚系疾患、感覚器疾患や各種感染症の主な症候、観察、判断、処置などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
30	○		小児科疾患	小児・新生児疾患の主な症候、観察、処置などを中心に学ぶ。	2後	15	1	○			○			○	
31	○		高齢者疾患	高齢者疾患の主な症候、観察、処置などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
32	○		妊娠・分娩と救急疾患	妊娠に関する基本的理解と正常分娩の経過、分娩介助について学ぶ。また、異常妊娠や異常分娩の病態、症候、対応について学ぶ。	2後	15	1	○		○	○			○	
33	○		精神障害	精神障害の特殊性と救急処置法などを中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○			○	
34	○		外傷総論	外傷の定義や分類、受傷機転から外傷性ショック、現場活動を中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○		○		
35	○		外傷救急医学Ⅰ	各外傷についての受傷機転、発生機序、病態、症状、所見及び予後等や救急処置・搬送方法を学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
36	○		外傷救急医学Ⅱ	外傷患者における生体反応や受傷機転から特徴、外傷性ショックについて学び、現場活動ができる。	2後	15	1	○		○	○		○		○
37	○		中毒・環境障害	中毒の病態生理と、環境因子による障害の発生機序、病態、症状、所見及び救急処置法を中心に学ぶ。	1後	15	1	○			○		○		
38	○		シミュレーション実習Ⅰ	実践的なシミュレーション実習を通し、観察・判断・処置に必要な知識や技術を身につける。	1通	495	11				○	○		○	○
39	○		シミュレーション実習Ⅱ	実践的なシミュレーション実習を通し、観察・判断・処置に必要な知識や技術を身につける。	2通	495	11				○	○		○	○
40	○		臨床実習	傷病者に対する救急隊の現場活動や病院内での観察、処置など実際の医療現場を通じて実践的な知識・技術・接遇を身につける。	2通	180	4				○		○		○
合計					40 科目	88 単位（単位時間）									

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 本校所定の課程を修了し、出席日数をみたし、試験に合格すること。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 当該年度の科目を全て履修していなければならない。		1 学期の授業期間	20 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。